

- (1) 空とぶキューはゴークルルルルンと、大空をとんでいきます。あとからブラックバードの手下のヒコーキがおいかけてきます。キューの中では
- (2) 「先生、たいへんよ、黒いヒコーキがたくさんこちへ来たわ」「なアに大丈夫だ。わしはゆっくり山へかえるよ」と話しています。そのうち、
- (3) ダダダダーと、ヒコーキから空飛ぶキューめがけてうってきました。しかしうったタマは
- (4) ターンクルリシュツと、キューにあたるとすべってはじきかえされてしまいます。
- (5) 「やッ、これはいくらうってもタマがムダだぞ」「ウム、あたつてもはじきかえされてしまう」「あゝキューがおそろしい早さでうごき出したぞー」
- (6) ヒューンクルルルルゴーわをえがいて空飛ぶキューは、空をまわりはじめました。クルルルスー、するとどうしたことでしょう
- (7) ザブーンドブーンと、海の中へつぎつぎに落ちてしまうではありませんか。空飛ぶキューの中では
- (8) 小人ハカセがミドリに「ごらん、悪いヒコーキは片づいただろう」「まアおどろいた。なぜでしょう、みんな落ちてしまうなんて」「ウム、あれはね、キューが早くとんで空気をうごかしてエアポケットを作ったのだ」
- (9) 「空気の穴ができたから、ヒコーキはみんな穴へおちたのさ」と、小人ハカセが説明しているうちに、空とぶキューは日本の山の中へかえってきました。
- (10) こちらは手下をみんな落とされたブラックバードです。「ウム、にくいやつはあの空飛ぶキューだ。しかし、あれをうごかしているのはダレだろう」「はア、何でも日本の山の中から来るようですが」
- (11) 「わかった、小人ハカセにちがいない。小人ハカセは日本一のチエ者だ。しかし、オレは負けないぞ。今に小人ハカセをやっつけてやる。よし、今夜光に乗って小人ハカセのところへいってみよう」さて…